



ひので映画大使最新版

第47回映画大使「魔女の宅急便」

期 日 平成26年3月1日(土) ※公開初日！
 場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

角野栄子さんのベストセラー「魔女の宅急便」が劇場アニメーション、ミュージカルを経て遂に実写映画化！

魔女の血をひく一人の少女が、様々な人達との出会いの中で成長していく姿を爽やかに描きます。キキが画面いっぱいに飛び回る様子は爽快感あふれます！



(C) 2014「魔女の宅急便」フィルムパートナーズ

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

- ☆ キキ役の女の子(小芝風花さん)が役にピッタリ！
- ☆ 爽やかな気持ちになりました！
- ☆ アニメーションとは違った良さがありました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

■Aさん

子どもさんが観るにも良い内容ですよ。景色が凄く綺麗でした。ジジ(キキの相棒の黒猫)は本物の猫？(CGのようです)自然の描写が豊富で、気に入りました！

■Bさん

アニメ版のキキとよく似ていましたね。特撮も素晴らしくて、アニメ版より迫力があつたと思います。清水崇監督はホラー映画でも有名な方なので、どんな作品になるのだろうと思ってましたが、見事な描写で感動しました。歌のシーンも良かったです。人間って団結できるんですね。素晴らしかったです！

■Cさん

冒頭の町並みが良かったです。魔女が飛んでいるのが似合う風景で、良いロケ地でしたよね。異国の感じなのに、日本風の描写が目立っていたので、もう少し無国籍風に描いて欲しかったな、とも思いました。キキ役の子やお母さん役の宮沢りえさん、オソノさん役の尾野真千子さんはまさにピッタリの役でしたね。

■Dさん

アニメ版とは全く違いますが、キキが信頼を得ていくところなど、感動の場面が多かったですね。劇中の歌手「タカミ・カ

ラ」(YURIさん)の歌にグッときました！

■Eさん

私もアニメ版とどう違うのかと思っていましたが、冒頭のシーンから引き込まれました。景色が素晴らしく、キキが飛んでいるシーンでは、自分も一緒に飛んでいる感覚で、思わず深呼吸したくなる位でした。人の気持ちの描写が素敵で、胸いっぱいになりました！

■Fさん

内容が温かくて、気持ちと笑顔というのは、魔法が使えなくても、魔法のような作用があるんだなって思いました。最初は自信過剰だったキキの心の変化もよく伝わりました。心に残る映画で、これからは笑顔の魔法を忘れないようにしようと思います。

■Gさん

大変美しい映画でした。キキの天性の明るさと、彼女を取り巻く人々により、危機を乗り越えていくストーリーは、大人も子どもも楽しめて、学べる作品だと思います。ホウキで空を飛ぶ映像に、自分も鳥になったような体感を味わいました。ジジやカバの赤ちゃんも可愛いし、リアルでしたね。3Dでも観たかったです。現実には群集心理に煽られた悲惨な出来事が今でも起きていますが、この作品の奥にもそういったテーマが込められている事を心の奥に留めたいと思います。

▶ 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・キキ役の小芝風花さんは目がキラキラしていて、本当に輝いていましたね。可愛らしかった！
- ・トンボと、オソノさんのだんなさんなど、アニメ版とは違う印象のキャラもいましたが、すぐに気にならなくなりました。アニメとは全然別の見せ方で、むしろ良かったと思います。素敵な作品でした。
- ・印象的なセリフも多かったですね。
- ・空を飛びたいです！
- ・島の壮大な景色がとても印象的でした。(香川県の小豆島でロケが行われたそうです)
- ・歌声が魔法のようでした！
- ・風車が沢山出ていて、「風」を象徴していましたね。

▶ まとめ

「魔女の宅急便」と言えば、宮崎駿監督のアニメーション版が有名ですが、今回の実写版からも、実写ならではの躍動感と爽快感、そして、爽やかな感動を私たちに届けてもらいました。

人間と魔女が同じ世界に生きている世界での物語ですが、時として起きる差別や偏見を乗り越えたり、自分の出来る事を存分に発揮していく事、つまり自分に自信を持つ事の大切さなど、観る者へのメッセージも沢山込められている作品でした。

キキの飛行シーンを劇場の大スクリーンでは是非ご覧ください！

▶ 関連ページ: [これまでのひので映画大使](#)

▶ 関連ページ: [ひので映画大使のトップに戻る](#)

問い合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係

電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶